

アカシウス寄宿舎学園

声優ごっこイベント

4月9日分 台本

第二話 『お姉さまとのエスケープ』

4月8日にお客様に

上段の感情表現を、選んで頂き

4月9日に発表します。

(お一人様、2つ程度の編集をお願いします)

お客様に選んで頂く感情表現

感情

- 猫なで声で
- バーンと叩かれる

感情

- 無感情で
- 悪巧みを秘めた感じで

感情

- ムツとして
- 楽しそうに

感情

- うなだれて
- 反抗的に

第三話 『お姉さまとのエスケープ』

フィニア 「お姉さま、外出許可証は出して頂けました？」

ウオツカ 「無論だ、抜かりは無い」

ホウミ 「あの、フィニアお姉さま

なぜお弁当を作らなくてはならないのですか？

それも私が…」

フィニア 「うるさいわね、あなたが私の奴隷だからよ！」

ホウミ 「ううっ

さらに、なんで午後の授業中に外出なのですか？」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

悲鳴に近い驚き

信じられない感情で

感情

不満げな感じで

意地悪い感じで

感情

パニックな感じで

唸る感じで

感情

嫌な優等生な感じで

意地悪い感じで

感情

冷たい感じで

意地悪い感じで

フィニア 「あー、うるさいわね！ 授業サボる為に決まってるでしょ！」

ホウミ 「えー！ー！」

ウオツカ 「ファイイー！」

フィニア 「うぎや、う、う、うー！ー！」

「ホーミイが余計な事聞くから、私がお姉さまに叱られたでしょ！

植物採集よ、植物採集、表向きはね

そうですよね、ウオツカお姉さま？」

ウオツカ 「ファイイー、

ユグドラシルのてっぺんに置き去りにされたいようだな

ま、確かに植物採集では無いけどね さ、行くか」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

- 恥ずかしがる感じで
- イラつとした感じで

感情

- 大絶叫
- 押し殺した悲鳴

感情

- やさぐれた感じで
- 迷惑そうな感じで

感情

- 心配そうに
- 冷たく無表情な感じで

ユグドラシルに登り始める3人

ホウミ「フィンアお姉さま、この制服だと

スカートが木の枝に引っかかって、うまく…登れませんよ」

ホウミ「キヤー、虫、虫、虫!!!」

フィンア「本当にうるさい子ね

虫ぐらいで騒がないでちょうだい

スカートなんて、どうせ誰も下から見てないんだから、

ガバーと足広げて、ガシガシ上がっていけば良いのよ」

ホウミ「でもお姉さま、さっきから男の子が、じっと見てますよ…」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

- ブラックな人格な感じで
- 冷酷な殺し屋な感じで

魔法

- 低い声で
- 高い声で

感情

- 慌てて怒った感じで
- 冷めた感じで

感情

頭をゴツンとされて

- 子泣きな感じで
- 甘えた感じで

感情

- 決まり悪そうに
- 早くしろって感情で

フィンニア 「へえ、

う、ううう！ あいつは！ブレンドル家のマセガキ！！！！

今日こそ、私のゴーレムで捻り殺してやるわ」

フィンニア 「デイセリー、デイスルード、ガンゴール…」

ウオツカ 「やめろ、このバカ・フィンニア

また図書館をめちやくちやにする気なのか、君は」

フィンニア 「お姉さま、痛いですー」

ウオツカ 「バカやってないで、さっさと登るぞ、私はお腹が空いた」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

明るく

冷たい感じで

感情

うっとりして

新たな思いを秘めて

感情

アクビしながらな声で

たしなめる感じで

感情

眠たげな声で

明るく可愛く

「ユグドラシルの中腹の踊場でくつろいでる3人」

フィニア「ふー、食べた、食べた、

ホーミイって結構料理うまいのね。やっぱり私の専属メイド決定ね」

ホウミ「やりませんよ…。

でもここ本当に景色が綺麗

エルアカシアの塔も、あんなにはっきり見えるんですね。」

ウオツカ「さ、寝るぞ

若い私達には、睡眠が必要だ」

ホウミ「はい

(心の声) お昼寝なんて久しぶり。でも本当に気持ちがいいな」

「そして3人が起きたのは、帰校時間を大幅に過ぎた後だった」